

第2章 調査の結果

調査結果について説明する。各質問の性・年代別の単純集計は以下のようにになっている。各選択肢を選んだ割合(%)を表示している。重複回答の場合は合計が100%を超えている。

(1)質問 1

表2.1 質問1の性・年代別集計(1999年8月調査)

質問1(8月)		総数	(ア)	(イ)	(ウ)	その他わからない	
男	20歳代	67	88.1	3	9	0	0
	30歳代	90	94.4	2.2	2.2	0	1.1
	40歳代	111	97.3	0.9	1.8	0	0
	50歳代	123	98.4	0	1.6	0	0
	60歳以上	232	98.7	0	0.4	0	0.9
	全年齢	623	96.6	0.8	2.1	0	0.5
女	20歳代	84	90.5	2.4	4.8	0	2.4
	30歳代	122	98.4	0	0.8	0	0.8
	40歳代	138	98.6	0	0.7	0	0.7
	50歳代	166	98.8	0	1.2	0	0
	60歳以上	261	96.6	0	1.1	0.4	1.9
	全年齢	771	97	0.3	1.4	0.1	1.2
全体		1394	96.8	0.5	1.7	0.1	0.9

(ア)どのような理由であれ、絶対に使うべきでないし、許されることではない
(イ)心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない
(ウ)他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である

表2.2 質問1の性・年代別集計(1999年9月調査)

質問1(9月)		総数	(ア)	(イ)	(ウ)	その他わからない	
男	20歳代	64	89.1	3.1	6.3	1.6	0
	30歳代	87	96.6	0	2.3	0	1.1
	40歳代	124	98.4	0.8	0.8	0	0
	50歳代	147	97.3	0.7	1.4	0	0.7
	60歳以上	239	97.5	0.8	1.7	0	0
	全年齢	661	96.7	0.9	2	0.2	0.3
女	20歳代	80	96.3	0	1.3	0	2.5
	30歳代	141	97.9	0.7	0.7	0	0.7
	40歳代	136	97.8	1.5	0	0	0.7
	50歳代	172	97.7	1.2	0	0.6	0.6
	60歳以上	237	96.2	1.7	0.8	0.4	0.8
	全年齢	766	97.1	1.2	0.5	0.3	0.9
全体		1427	96.9	1.1	1.2	0.2	0.6

(ア)どのような理由であれ、絶対に使うべきでないし、許されることではない
(イ)心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない
(ウ)他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である

表2.3 質問1の性・年代別集計(1999年12月調査)

質問1(12月)	総数	(ア)	(イ)	(ウ)	その他わからない		
男	20歳代	80	93.8	2.5	2.5	1.3	0
	30歳代	82	93.9	1.2	4.9	0	0
	40歳代	97	95.9	0	2.1	0	2.1
	50歳代	110	99.1	0	0	0	0.9
	60歳以上	210	96.7	0	1.4	0	1.9
	全年齢	579	96.2	0.5	1.9	0.2	1.2
女	20歳代	85	95.3	0	2.4	0	2.4
	30歳代	125	96.8	0.8	0	0	2.4
	40歳代	148	99.3	0	0.7	0	0
	50歳代	156	98.7	0.6	0	0	0.6
	60歳以上	248	98.4	0.4	0	0	1.2
	全年齢	762	98	0.4	0.4	0	1.2
全体	1341	97.2	0.4	1	0.1	1.2	

(ア)どのような理由であれ、絶対に使うべきでないし、許されることではない
(イ)心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない
(ウ)他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である

質問1では覚せい剤についての意識を問うための質問である。3回の調査を通して共通に言えることは男女とも20歳代、30歳代に使用を容認する考えを持つ者が多いことである。特に8月調査における男・20歳代では9%が「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と答えている。9月でも6.3%いることが分かっている。夏で開放的であるのかもしれないが、このような意識が乱用につながっていくものと思われる。次ページの帯グラフを見れば、各調査での20歳代、30歳代と全年齢の回答パターンの差違が分かると思う。

図1.1 質問1(1999年8月調査)

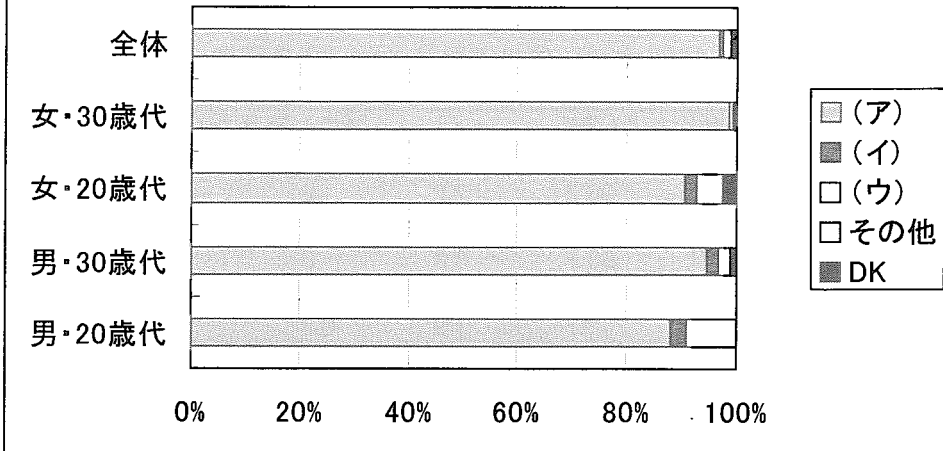


図1.2 質問1(1999年9月調査)

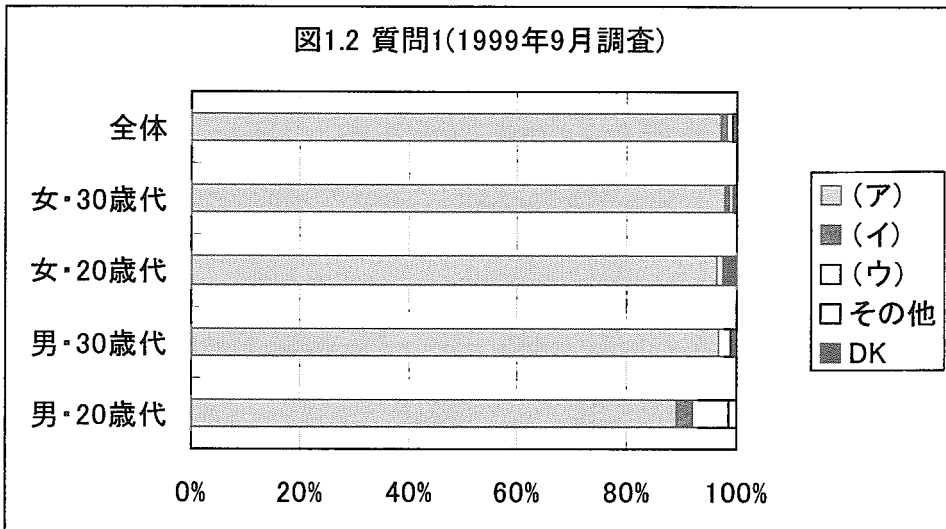
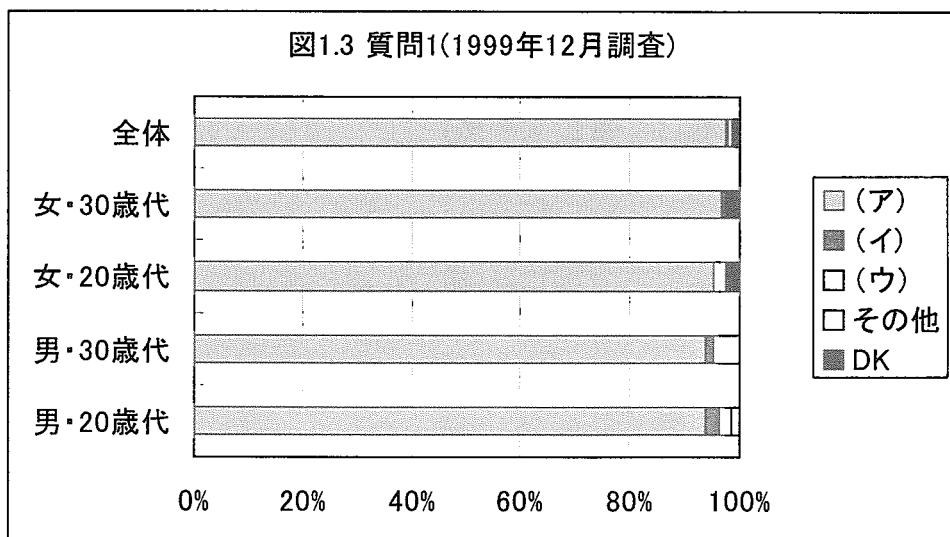


図1.3 質問1(1999年12月調査)



(2)質問 2

表3.1 質問2の性・年代別集計(1999年8月調査)

質問2(8月)		総数	(ア)	(イ)	(ウ) 答えたくないわからない		
男	20歳代	67	92.5	1.5	1.5	3	1.5
	30歳代	90	96.7	2.2	0	0	1.1
	40歳代	111	97.3	1.8	0.9	0	0
	50歳代	123	96.7	3.3	0	0	0
	60歳以上	232	98.3	1.3	0	0	0.4
	全年齢	623	97	1.9	0.3	0.3	0.5
女	20歳代	84	96.4	1.2	0	0	2.4
	30歳代	122	98.4	0	0	1.6	0
	40歳代	138	100	0	0	0	0
	50歳代	166	100	0	0	0	0
	60歳以上	261	96.6	0	0	0.4	3.1
	全年齢	771	98.2	0.1	0	0.4	1.3
全体		1394	97.6	0.9	0.1	0.4	0.9
(ア)絶対に使用しない (イ)ばれなければ1回くらいは使用してみたい (ウ)誰に迷惑をかける訳でもないので常習的に使用してみたい							

表3.2 質問2の性・年代別集計(1999年9月調査)

質問2(9月)		総数	(ア)	(イ)	(ウ) 答えたくないわからない		
男	20歳代	64	93.8	6.3	0	0	0
	30歳代	87	96.6	1.1	0	1.1	1.1
	40歳代	124	96	3.2	0.8	0	0
	50歳代	147	99.3	0	0	0.7	0
	60歳以上	239	98.7	0.4	0.4	0.4	0
	全年齢	661	97.6	1.5	0.3	0.5	0.2
女	20歳代	80	98.8	0	0	0	1.3
	30歳代	141	99.3	0	0	0	0.7
	40歳代	136	97.1	1.5	0	0.7	0.7
	50歳代	172	98.8	0.6	0	0	0.6
	60歳以上	237	97.5	0.8	0	0.4	1.3
	全年齢	766	98.2	0.7	0	0.3	0.9
全体		1427	97.9	1.1	0.1	0.4	0.6
(ア)絶対に使用しない (イ)ばれなければ1回くらいは使用してみたい (ウ)誰に迷惑をかける訳でもないので常習的に使用してみたい							

表3.3 質問2の性・年代別集計(1999年12月調査)

質問2(12月)		総数	(ア)	(イ)	(ウ)	答えたくない	わからない
男	20歳代	80	97.5	2.5	0	0	0
	30歳代	82	97.6	2.4	0	0	0
	40歳代	97	94.8	0	0	2.1	3.1
	50歳代	110	98.2	1.8	0	0	0
	60歳以上	210	98.1	1.4	0	0	0.5
	全年齢	579	97.4	1.6	0	0.3	0.7
女	20歳代	85	100	0	0	0	0
	30歳代	125	98.4	0.8	0	0	0.8
	40歳代	148	98.6	1.4	0	0	0
	50歳代	156	99.4	0.6	0	0	0
	60歳以上	248	98.8	0	0	0	1.2
	全年齢	762	99	0.5	0	0	0.5
全体		1341	98.3	1	0	0.1	0.6

(ア)絶対に使用しない
(イ)ばれなければ1回くらいは使用してみたい
(ウ)誰に迷惑をかける訳でもないので常習的に使用してみたい

質問2では覚せい剤を使用する可能性について問うている。3回の調査を通して共通に言えることは、さすがに「常習的に使用してみたい」と答える者はほとんどいないが、女性と比べて男性の方に「1回くらいは使用してみたい」と答える割合が多いことである。質問1との関連を知るために9月調査についてクロス集計を行った。質問2で「ばれなければ1回くらいは使用してみたい」と答えた15人の内、5人が質問1では「心や体への外がないなら、1回くらいは使ってもかまわない」と答え、3人が質問1では「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と答えている。覚せい剤に対する危険意識の無い者の方が使用の機会が訪れたときに使用してしまう危険が多いことを示唆している。

表4 質問1と質問2とのクロス集計(1999年9月調査)

	総数	質問1				
		(ア)	(イ)	(ウ)	その他わからない	
質問2 (ア)	1397	98	0.6	0.9	0.1	0.3
(イ)	15	46.7	33.3	20	0	0
(ウ)	2	100	0	0	0	0
答えたくない	5	20	0	0	20	60
わからない	8	50	12.5	12.5	0	25